すこやか通信 アグリ生活

あぐりっしゅ※

AGRICHE 2026.11

※「あぐりっしゅ」は、アグリとフランス語のリッシュ（riche/ 豊かな）の造語です。

vol.143

紅葉色づく 秋の深まり

木々の葉が色鮮やかに染まり、秋の深まりを感じる季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

十一月は紅葉が見頃を迎え、赤や黄色に彩られた景色を楽しめる時期ですね。身近な公園や街路樹にも目を向けながら、この季節ならではの美しい風景を楽しんでみてはいかがでしょうか。



アグリ生活の
お役立てレシピ

インスタグラム・クックパッドで
レシピを公開しています！

アグリ生活の商品で楽しくおいしいレシピをご紹介。

@agri_life_natural

@cook_40306116

お客様のお声

「うれしいお声」頂きました！



「楽しみにしていたホットケーキミックス！」

クリームを盛り付けるとカフェのスイーツのように！お友達にもまた、プレゼントしたいと思います。

（兵庫県　Y・M様）



「リピートです！」

ほんのり甘くてヨーグルトに入れて食べています。発送が早いのでいつも助かっています！

（大阪府　I・A様）



「安心して飲める美味しいノンカフェインティー！」

妊娠中なので購入してみました。とっても美味しく、ミントもそんなに強くなく飲みやすいと思います！

（兵庫県　K・R様）



「綺麗なお茶ですね！」

発色がよく、喜んでもらえました！

（東京都　T・K様）

お客様のお声大募集！

お礼プレゼント！あなたのお声お待ちしております♪

※ハガキでの応募を終了し、応募フォームからの応募へ変更致しました。

あぐりっしゅのプレゼント企画に応募頂けますと、抽選で下記の特典をプレゼント！

アンケート上でご選択いただいた
ご希望商品をプレゼント！

発行物に掲載されたお客様

楽天のお客様の場合はレビュー掲載で
30%OFFクーポンをプレゼント！



COUPON
30%OFF

アンケート＆応募フォームは
こちらから！

※本アンケートで取得しました個人情報につきまして、目的外の利用をする事はございません。

※お客様の感想であり、効果・効能を示すものではありません。

アグリ生活 AGRI SEIKATSU

日本アドバンストアグリ株式会社 商品センター
〒520-2362 滋賀県野洲市市三宅457

☎ 0120-977-625
平日 10:00～21:00／土日祝 10:00～18:00
Fax.077-588-6122

公式オンラインストア
https://www.agri-life.jp/
アグリ生活

「楽天市場」「Amazon」「Yahoo!ショッピング」「Qoo10」
「au PAY マーケット」にてお買い求めいただけます。

※取扱商品、在庫状況は店舗により異なりますので、予めご了承ください。



カラダと地球に優しい植物由来ティーバッグ



再生可能な植物を原料とした100%トウモロコシ由来のフィルターを採用。均一なメッシュで通水性に優れ、茶葉を抽出しやすく、雑味のない自然の美味しさを引き出します。

毎日の心とカラダを整える4種のお茶



一日の光の移り変わりを描いたパッケージに、時間帯や気分で選べる4種のブレンドをアソート。ゆらぎがちな11月のコンディションを、優しく健やかにサポートします。

vol.72

健康の、おはなし。

日暮れ前に予定を整える：11月の暮らしケア

11月は朝晩の冷え込みが増し、暖かい室内で過ごす時間も長くなるころです。体を動かす機会が減りやすい季節こそ、座りっぱなしの時間に目を向けてみましょう。

家事の合間に部屋の中を歩いたり、肩を回したりと、小さな動きを日常に取り入れてみませんか。こまめに座る時間を区切ることも、健康づくりの一つです。

無理をせず、自分の体調に合わせて、寒い季節もできるかぎり体を動かしていきましょう！

季節を楽しむ

「秋の七草」

Agri Life

ハーブに魅せられて vol.56



朝夕の風が冷たくなり、木々にも冬の気配が見えてくる11月となりました。花の少なくなる季節に、庭や道沿いを彩るのが山茶花（さざんか）です。今号は、山茶花と冬を迎える花の文化についてお話しします。

■冬の入口に咲く山茶花



山茶花はツバキ科の木で、冬にも緑の葉を保ちます。日本の西南部に自生し、秋から冬にかけて花を咲かせます。見頃は土地や品種によって異なりますが、枝先の花に、季節が一つ進んだことを感じます。

野生の山茶花には白い花が多く、淡く紅色を帯びるものもあります。庭や公園では紅色や桃色の花も見られ、冬の景色を明るくしてくれます。

■花びらにも目を向けて

山茶花と椿（つばき）はよく似ていますが、散り方に違いがあります。一般に、山茶花は花びらが一枚ずつ散り、椿は花がまとまって落ちます。見分ける目安の一つです。

風に寄せられた紅色の花びらや、土の上に重なる白い花びら。花のあとまで眺めてみると、いつもの道にも、見過ごしていた景色があることに気づきます。

■庭で育まれた花の楽しみ



山茶花は、江戸時代の前期から多くの園芸品種が栽培されてきました。花びらが重なる八重咲き（やえざき）の品種もあります。同じ山茶花でも、育てる人が好みの姿を選ぶ楽しみがあります。花の色や形の違いを楽しみながら育てることは、冬の庭を眺める楽しみにもつながっていたのでしょう。

今も庭や公園で親しまれる山茶花には、花を待つ人のまなざしが感じられます。小さなつぼみを見つけ、次に通るときには咲いているだろうかと思う。そんな心待ちも、寒い季節の楽しみです。

■歌にも残る冬の花

山茶花は、童謡「たきび」にも登場します。歌を口ずさんだことのある方は、花の名前を耳で覚えたかもしれません。言葉で知っていた花を、いつもの道で見つける。その姿に目を向けると、歌の中の景色も少し身近に感じられます。

11月は、山茶花の咲く姿を手がかりに、暮らしのそばにある季節の物語を探してみてはいかがでしょうか。

次号（12月号）では、柚子（ゆず）と冬至（とうじ）の植物文化について取り上げます。冬の節目に植物を取り入れてきた、暮らしの物語をお届けします。どうぞお楽しみに。



アグリ生活

過去の会報誌はこちら

日本アドバンストアグリでは、東南アジア原産のハーブを活用した商品を取り扱っております。
東洋ハーブの魅力や当店のハーブについてのこだわりを紹介するコーナーです。